

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『統合失調症入院患者を対象とした高尿酸血症リスク因子に関する探索的後方視研究

—医療観察法病棟と一般精神科病棟の比較分析—

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

- ・ 2010年1月1日から2019年12月31日までの間に、当院の医療観察法病棟(8病棟、9病棟)にご入院された統合失調症の方。
- ・ 2015年1月1日から2019年12月31日までの間に、当院の一般精神科病棟(4北病棟)にご入院された統合失調症の方。

【研究期間】

研究開始日より2026年3月31日まで

【研究責任者】

病院 司法精神診療部 大町 佳永

【試料・情報の利用目的及び利用方法並びに利用する者の範囲】

当院医療観察法病棟を対象とした先行調査(倫理委員会承認番号:A2020-045)において、統合失調症患者に高頻度で高尿酸血症を認めた。これは医療観察法病棟という特殊環境下や重大な他害行為の既往による影響なのか、医療観察法病棟に限らず統合失調症患者では高尿酸血症を合併しやすいのか、現状では判断できない。そこで、先行調査の後続研究として、①一般精神科病棟の統合失調症患者も追加で調査し、先行調査の結果と比較分析する。②比較した結果、高尿酸血症は医療観察法病棟に入院した統合失調症患者のみに頻発するのか、一般精神科病棟に入院した統合失調症患者にも頻発するのか調査する。③医療観察法病棟と一般精神科病棟の統合失調症患者を合わせた対象者全体をBMIや高尿酸血症の有無等で層別化し、肥満ではない統合失調症患者で高尿酸血症を呈する者がどの程度存在するか調査する。④得られた結果に対して、血液生化学検査値や治療薬、生活背景等が高尿酸血症とどのように関連しているのか明らかにする。⑤得られた結果については学会発表や論文によって公表し、栄養管理の観点から精神科診療に貢献したい。以上、①～⑤が主な利用目的および利用方法である。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報：性、年齢、身長、体重、BMI、入院時からの体重変化、入院期間、血圧、血液生化学検査値(AST、ALT、 γ -GTP、尿酸、BUN、CRE、TG、HDL コレステロール(HDL-C)、LDL コレステロール(LDL-C)、HbA1c、e-GFR 等)、治療薬、入院中の食種、合併病名、飲酒歴、喫煙歴、間食や運動の有無等。

【提供する試料・情報の取得の方法】

情報：カルテの診療録から入手。

【利用又は提供を開始する予定日】

研究開始日を予定。

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院

所属 司法精神診療部 氏名 大町 佳永

電話番号 042-341-2711

e-mail: yomachi@ncnp.go.jp

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu@ncnp.go.jp